

事務事業名		取水・導水・浄水施設維持管理事業			☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	01 潤いに満ちた快適な都市環境の創造			事業期間	予算科目 会計 款 項 目 事業 水道 01 01 01
	施策名	02 良好な生活空間の創造				
	基本事業名	02 上水道・簡易水道の整備				
所 属	根拠法令	水道法			☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和29 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入	
	部課名	水道事業所				
	係 名	施設保安係	電話 0192-27-3111			
			内線 177			
事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 水源、取水施設、導水管及び浄水に係る施設の維持管理を行う。 主な事業内容 施設の運転管理 施設の日常点検 機器、計装設備の修繕及び点検委託 原水、浄水の水質監視及び検査委託 各施設の滅菌装置への塩素補充 事業費は動力費、薬品費、委託料、修繕費等である。						全体計画 (期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A) + (B) 0

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
手段 (主な活動)		名称	単位
前年度実績 (前年度に行った主な活動)		ア 施設点検回数	日
取水施設、導水施設、浄水施設の維持管理		イ 管理業務委託件数	件
今年度計画 (今年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度に同じ			
対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)	
取水施設、導水施設、浄水施設		名称	単位
		カ 取水施設数	施設
		キ 導水管延長	m
		ク 浄水施設数	施設
意図 (この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	
取水、導水及び浄水施設の機能が維持される。		名称	単位
		サ 電気、機器、計装設備の事故・故障件数	件
		シ 水質事故件数	件
		ス	
結果 (基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
水質の良い水を安定して供給できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移				年度	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円	47,559	45,638	44,923	45,351	42,667	43,753
			一般財源	千 円						
			事業費計 (A)	千 円	47,559	45,638	44,923	45,351	42,667	43,753
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	898	898	900	1,000	900	900	
		人件費計 (B)	千 円	3,592	3,592	3,600	4,000	3,600	3,600	
		トータルコスト(A) + (B)	千 円	51,151	49,230	48,523	49,351	46,267	47,353	
活動指標		ア	日	36	39	77	75	93	81	
		イ	件	10	10	10	10	12	11	
		ウ								
対象指標		カ	施設	6	6	6	6	6	6	
		キ	m	4,227.1	4,227.1	4,227.1	4,227.1	4,227.1	4,227.1	
		ク	施設	5	5	5	5	5	5	
成果指標		サ	件	4	3	5	9	4	8	
		シ	件	0	0	0	0	0	0	
		ス								

事務事業ID	0309	事務事業名	取水・導水・浄水施設維持管理事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等 この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和29年4月、上水道供用開始による。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ これまでの認可変更による拡張工事により、施設数が増加しており、さらに新浄水場建設計画も控えている。 機器の更新は計画的に実施しているものの、施設全体の老朽化が進んでいる。 既存水源の水量が、年々低下傾向にある。 水質検査項目が増え、水質基準が厳しくなっている。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 水道利用者から、水質の良い水を安定して供給されることが求められている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 取水・導水・浄水処理機能を維持することで、水道利用者に対し、水質の良い水を安定して供給できる。その結果、快適な都市環境の維持と向上が図られる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 水道は公営事業であり、経済性と共に住民福祉の増進に努めなければならないことから妥当である。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 維持管理事業であり対象、意図は適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☒ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない [理由] 管理人が常駐する施設と他の各施設を、電話回線などを利用し、電氣的に情報交換できる装置の充実を図り、事故の未然防止に努める。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 水質の良い水を安定して供給できなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 現状では他の手段は考えられない ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 電気料金等固定した経費が大部分であるため、これ以上の費用の削減は困難である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 現状ではこれ以上の人件費の削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 安定した水を供給するためには適切な維持管理が必要不可欠であり、その維持管理費は水道料金に転嫁されている。

事務事業ID	0309	事務事業名	取水・導水・浄水施設維持管理事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 施設の維持管理は適切であるが、一層の安全性確保を図るため、監視装置や機器の更新を今後も計画的に実施する必要がある。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 施設の適切な管理のもと監視装置等の充実を図り、安全で安定した水の確保を今後とも維持する。 東日本大震災により被災した施設の復旧を進め、安全な水道水供給に努める。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 料金収入が伸び悩みとなっているなかで、対象施設の増加及び既存施設の老朽化が進行していることから、事故の未然防止に努めるとともに、計画的で効率的な整備、更新が必要である。 東日本大震災により被災した施設の復旧を最優先に進めるとともに、必要な施設整備に努める。																							

(職名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者

水道事業所長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 1次評価での改善案だけでは、コスト増加となる傾向が強いと考えられる。									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 対象施設の増加及び、既存施設の老朽化が進行していることから、施設の適切な管理により事故の未然防止に努めるとともに、計画的で効率的な整備、更新が必要。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
